



個性を強みに 強みを社会の価値に
私たちは障がいのある方の未来によきパートナーでありたい

就労移行支援事業所 ここから未来

〒082-0012 帯広市西2条南7丁目5番地1 コスモビル2階
☎ 0155-67-0234 月～金 9:00～17:30

✉ kokomira@dg8.so-net.ne.jp

WEBサイトページはこちらから



暗雲低迷の中で射した光

～一日一日を生きる～

私は持続性気分障害という精神的な病気を患っている。端的に説明すると気分の浮き沈みが激しくその状態が長い間続いている、そんな病気だ。

何年も引きこもりだった私がここから未来へ通所しようと思っただのは、それは一つの出会いがあったからだ。

幼少期に負っていたPTSDにより人間不信に陥っていた私は小学生の頃から強い希死観念を抱いて生きていた。すべてにおいて諦めていた私は、今までに幾度となく自殺未遂を繰り返したがそれらの一つが原因で中学二年から不登校になり、普通科高校に復帰を試みたが挫折し通信制高校へ編入し卒業。全日制短大へ再チャレンジするも病状が悪化したことで精神病棟に入院しそのまま退学した。

それからは現在に至るまでずっと引きこもり生活を送っていた。

猫と戯れることやネット音楽の中という小さな世界で生きていた時、たまたま始めたオンラインでのゲームで共通の趣味を持った仲間に出会い、これまでに受けたことのない刺激を受けた。

「今はコロナ禍で会うことはできないけれど、収まったらオフ会でもしよう。」

この言葉が私をここから未来へと繋げてくれた。

今でも希死観念を強く持っている。それでもその気持ちと共に生きねばならない。そんな私の目標は一日一日を生きていることだ。ただ息をしているのではなく、生きるという意思をもってこれから生きていきたい。メンバーS・Y



入院中の癒やし
三年前の自宅にゃんこ

～個性を強みにしていく～

1年を振り返って

昨年十月に自身がADHDであることがわかり、今年の一月から、ここから未来を利用するようになりまし。十一月が経過し、現在、様々な企業の面接を受けています。ここから未来を利用するようになってから、「自身の強み“理解するようになりまし。ほかにも、自分の他にも同じような悩みを持つ人と出会えたことで、自分以外にも同じような(または、別ではあるも)“生きづらさ”を知ることができました。

発達障害はその人によって、特性の強弱が出てしまうため、自分自身でも「自分自身が発達障害」というのが理解できないということがいまます。

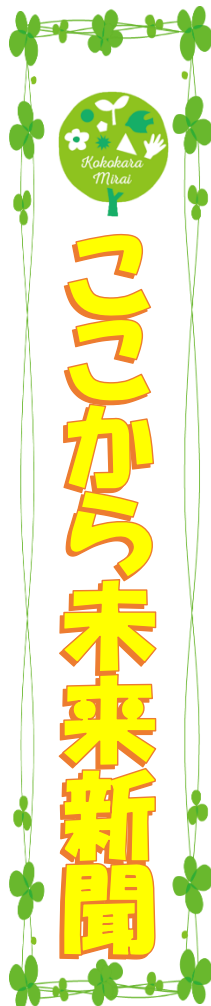
自身が発達障害だと知ったきっかけは本当に小さなことでしたが、後々に大きな成長につながりました。もし、「生きづらさ」を感じている方がいましたら、一度診断を受けてみてほしいと思います。

メンバーS



Sさんのイメージ
※本人作

就労移行支援事業1周年



就労移行支援事業所ここから未来は、おかげさまで1周年を迎えました。短期間の開設準備の後、2020年10月コロナ禍の開設となりました。1年を振り返ると家族、友人、利用者さん、関係機関の皆さんに支えられた1年でした。事業所として「ひとりひとりに」「強みに着目」「パートナースhip」「街に関わる」「生活に関わる」「人や街のエンパワメント」「心の健康に関わる」について、微力ですが実践しているところです。ここから未来の活動は、ご縁があって「ここから未来」につながった利用者さんとの出会いから創られています。就労系サービスですが、福祉サービス事業所として中身(価値)のある事業所に、成長出来る嬉しそうです。これからも宜しくお願い致します。

追伸、一緒に実践できるスタッフも募集しており、良いご縁があると幸いです。

管理者・サービス管理責任者

片平 修



現在の利用者：9名 利用相談中：3名 (11月末時点)											
手帳種別				年齢別				利用期別			
知的	身体	精神	なし	10代	20代	30代	40代	～1か月	～3か月	～6か月	～12か月
4名	0名	4名	1名	1名	4名	2名	2名	1名	1名	2名	5名
診断名				支給決定市町村				利用状況			
(ADHD・自閉スペクトラム症 持続性気分障害・双極性障害など)				帯広	芽室	中札内		アセスメント期	通常利用期	就職活動期	実習期
				7名	1名	1名		1名	4名	2名	2名



チーズの合間から、黄身があふれ出し、食欲を掻き立てる。

カフェ「ホッチーノコーヒー」さんで食レポ

秋も終わりの10月10日、電信通りのカフェ「ホッチーノコーヒー」さんで食レポ体験取材を行った。ホッチーノコーヒーさん一番人気のエッグベネディクト。ベネディクトは「幸福を呼ぶ」というヨーロッパ男性の意味だとか。手作りのマフィンの上にトロトロの半熟卵、ベーコンがあり全体をチーズでコーティングしてある。ナイフを入れてみると黄金色に輝く半熟卵が泉のごとく流れ出してくる。口の中にも芳醇な香りとチーズとトロトロの半熟卵が素晴らし。ハーモニーを醸し出していた。付け合わせのサラダのドレッシングもさっぱりで、野菜のみずみずしさを引き出ししており、納得の一番人気。メンバーS Y



パーツの接着に夢中になるMさん、細かいところに苦戦中

プラモデル製作を通じて

ここから未来の活動として今回はMさんが取り組みたいことのひとつだったプラモデル製作をしました。とても車が好きなMさん。将来乗りたい車種である、「セルシオ」を選びました。

車高調整・タイヤのハの字調整・スプリングの調整など、足回りの組み立てが難しかったそうです。ですが時間をかけて組み立てや、塗装し、仕上げに細かいシール付け

発行日
12月7日
発行者
片平 修
制作者
大場 康弘



もしくは
kokokaramirai.com



人気アニメキャラの仮装姿の子供たちが、会場ですたンプラリーをしながら、電信通りをパレードされていました。

メンバーS

でんしん通りハロウィンを取材

10月30日(土曜日)14:00から「電信通りハロウィン」が開催され、ここから未来が取材と参加しました。新型コロナウイルス対策で例年と違い、仮装パレードを二つに分けて開催。実際に会場に行ってみると、約300参加者で会場はあふれかえった。先頭のでんぞうちゃんを中心に、吸血鬼や魔法使い、人気アニメキャラの仮装姿の子供たちが、会場ですたンプラリーをしながら、電信通りをパレードされていました。



完成したセルシオ

をして完成したときは、とてもやりがいや達成感があったと歓喜していました。次回製作するときは、「もう少しレベルの高いものを作りたい。そして最終的にはラジコンを作れるようになりたい。」と目標をもっているMさん。今回、プラモデル製作を通じてMさんと協力し、難しいところは一緒に考えながら活動できたことで、たくさんコミュニケーションがとれたと思います。

スタッフ佐藤